

安全のために実施いただきたいこと

溶接機を安全にご使用いただくための10ポイント

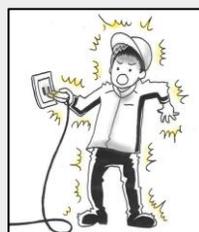
定期的な清掃

粉塵などの付着・堆積状況に応じ、定期的に溶接電源内部や送給装置の清掃を行ってください。付着・堆積した粉塵などにより、トランス等の電気部品の絶縁が低下して焼損することがあります。



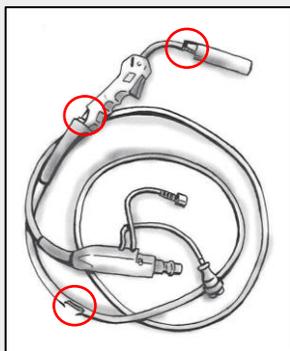
メンテナンス時の電源遮断

電気機器のメンテナンスを行う際は、配電箱のスイッチを遮断してください。破れたり、濡れたりした手袋は使用せず、帯電部分などには触れないでください。感電により、致命的な電撃や、やけどを負うことがあります。



劣化・破損した部品の交換

トーチのケーブルや絶縁部品が破損や劣化した状態で、溶接作業を実施しないでください。破損や劣化した箇所から露出した帯電部が母材や接地部位に接触することによりスパークが発生し、焼損に至ることがあります。



周辺の可燃物の撤去

可燃物の近くで溶接作業を実施しないでください。溶接時に飛散するスパッタにより、火災に繋がることがあります。

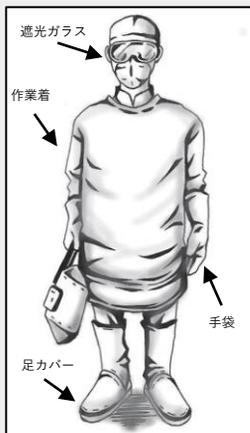


△ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 溶接機は、換気することができ、しかも可燃物のない屋内に設置してください。
- 溶接で発生するアーク光、飛散するスパッタやスラグから、あなたや他の人々を守るために、保護具を使用してください。
- 溶接で発生するアーク音から、あなたや他の人々を守るために、防音保護具を使用してください。
 - 防音保護具を未使用の場合は、回復しない騒音性の難聴を引き起こす場合があります。
 - 防音保護具の種類は*は、JIS T8161(防音保護具)に従ってください。*: 耳栓、耳覆い(イヤーマフ)

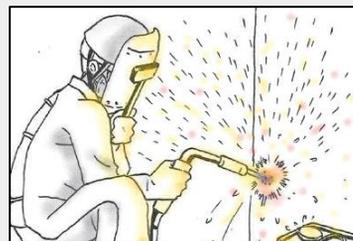
保護具の着用

溶接作業時に飛散するスパッタから身を守るため、適切な保護具を着用してください。飛散したスパッタにより、やけどを負ったり、衣服などの類焼に至ることがあります。



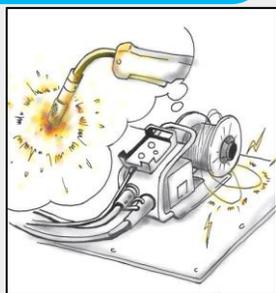
遮光ガラスの使用

溶接時に発生するアーク光から眼を保護するため、JIS規格に従った遮光ガラスを使用してください。アーク光により、眼の炎症に至ることがあります。



溶接ワイヤ交換時の注意

溶接ワイヤを取付けの際は、ワイヤがばらけないようにしてください。ばらけたワイヤが母材などと接触すると、溶接電流が流れることでワイヤが赤熱し、ワイヤプールなどが溶融・焼損することがあります。



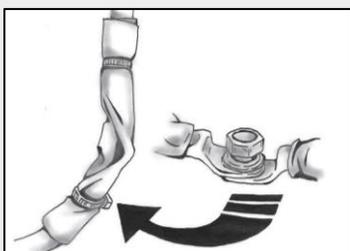
換気による人体の安全確保

溶接時は、十分な換気を行ってください。換気をせずに、溶接時に発生するガスやヒュームを吸引すると、健康を害する原因になります。



露出充電部の絶縁処理

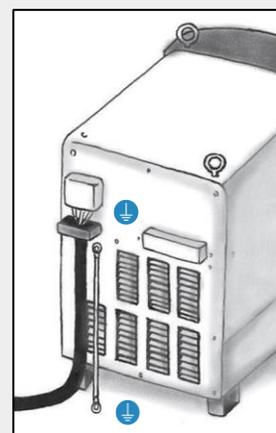
延長ケーブルの接続箇所などの充電部は、絶縁処理を行ってください。充電部が露出していると、溶接電流などが地絡したりすることで、思わぬ事故の原因となります。



ケース接地による感電防止

溶接電源は、決められた接地端子にて接地工事を行ってください。溶接電源が接地されていないと、漏電事故により感電する場合があります。

※接地工事は必ず電気工事士の有資格者が行ってください。



パナソニック コネクト株式会社

プロセスオートメーション事業部
〒571-8502 大阪府門真市松葉町2番7号

パナソニック F S エンジニアリング株式会社

〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号

パナソニック溶接機・ロボット ご相談窓口

0120-700-912

受付9時～12時、12時45分～17時
(土日、祝日、年末年始、当社所定の休日を除く)

IW221202J01